

# 弘前大学学報



弘前大学大連事務所開所式

第 100 号  
平成24年 7月号

**学内ニュース**

○プロテオグリカンフォーラム夏2012を開催	-----	1
○第3回弘前大学出版会賞表彰式を举行	-----	3
○弘前大学大連事務所開所式を举行	-----	4
○第1回海洋エネルギー国際シンポジウムを開催	-----	6
○日本学術振興会による科研費及び 特別研究員制度に関する説明会を開催	-----	7
○特別研究助成制度認定状交付式を举行	-----	8

<b>諸会議</b>	-----	9
------------	-------	---

**人 事**

○新任教授紹介	-----	10
○人事異動	-----	10

<b>主要日誌</b>	-----	12
-------------	-------	----

<b>学内規則等の制定等</b>	-----	13
------------------	-------	----

<b>訃報</b>	-----	14
-----------	-------	----

---

## プロテオグリカンフォーラム夏2012を開催

本学は、7月5日（木）弘前市内ホテルにおいて、「プロテオグリカンフォーラム夏2012」を地方独立行政法人青森県産業技術センター、弘前市、青森県とともに開催しました。

本フォーラムは、本学の研究シーズを基に展開してきたプロジェクト、地域イノベーション戦略支援プログラム「プロテオグリカンをコアとした津軽ヘルス&ビューティー産業クラスターの創生」事業の一環として、中核機関である青森県産業技術センターとともに開催したもので、化粧品・健康食品業界の専門家による記念講演のほか、取組成果発表、新商品の紹介などが行われました。

当日は、事業総括、青森県知事、弘前市長、本学学長の主催者挨拶と、来賓として文部科学省科学技術・学術政策局産業連携・地域支援課の里見朋香課長からの挨拶があり、株式会社エフシー総合研究所取締役フジテレビ商品研究所 担当 菅沼薫氏をはじめとする、4名の識者による基調講演、特別講演が行われました。

フォーラムの後半では、株式会社日経BP社特命編集委員宮田満氏を座長に、三村申吾青森県知事、葛西憲之弘前市長、佐藤敬弘前大学長と同事業の参画企業、当日の講演者ら11名によるパネルディスカッションが行われ、同プロジェクトのさらなる飛躍に向けた活発な意見交換が行われました。今回の新商品の中には、大学生の就業力育成支援事業の一環として、本学人文学部学生が地域企業と共に商品開発企画から取り組んだ新商品も登場し人材育成の面でも話題となったほか、このたび小学館より刊行された新書「奇跡の新素材 プロテオグリカン」等をはじめとしたプロテオグリカンの情報発信の方策や大学の役割、ブランド化やメディア戦略について議論され、会場を訪れた約350名の参加者は、今後の青森県での取組について考えるとともに、プロテオグリカンについて理解を深めていました。

\*プロテオグリカン タンパク質と糖鎖（グリコサミノグリカン）が共有結合した複合糖質の一種



里見産業連携・地域支援課長による来賓挨拶



佐藤学長による主催者挨拶



活発な意見交換がされたパネルディスカッション

### 第3回弘前大学出版会賞表彰式を挙

本学出版会では、平成21年1月から平成23年12月までに同出版会から出版された29作品を対象として、選考会議において優れた作品を選考し、第3回弘前大学出版会賞を表彰しました。今回の受賞作品にはJames N.Westerhoven編訳「Voices from the Snow」、杉山祐子/山口恵子編「ものづくりに生きる人々」の2作品が選ばれました。

7月9日（月）、本学附属図書館において表彰式が挙行され、佐藤学長をはじめ、学内外の関係者が列席しました。各受賞作品の著者には、郡出版会編集長から記念の光学ガラス製オーナメントが贈られました。

平成16年に学内組織として設立された同出版会は、大学教員の研究成果をはじめ、教養書、教科書及び地域の特色や文化の紹介など活発な出版活動を行っており、設立以来の累計出版数は119点を数えています。また、出版数が100冊に達したことを記念して、同大学の紹介本「弘前大学 知の散歩道」を企画し、今年の1月に出版するなど、更なる事業の普及・振興に努めています。



表彰式の様子



表彰式列席者による記念撮影

## 弘前大学大連事務所開所式を挙

7月13日(金)、本学にとって初めてとなる海外拠点「弘前大学大連事務所」の開所式を中国・大連市にある大連理工大学において行いました。

開所式には、佐藤学長、江羅理事、加藤理事をはじめとする本学関係者8名、そして、事務所の場を提供いただいた大連理工大学から、張校務委員会主任ら7名の大学関係者及び学生ら30名ほどが出席し、盛大に行われました。

はじめに佐藤学長が「大連理工大学の多くの方々のご理解とご協力により、弘前大学大連事務所を開設でき、光栄に思います。この事務所開設によって、両大学の教育・研究がますます発展することを願います。この度のご配慮に対して、大連理工大学の皆様にご心からお礼を申し上げます。」と挨拶を述べました。

そして、大連理工大学に弘前大学大連事務所を設置することの覚書調印、看板除幕と続き、大連理工大学の張校務委員会主任から「弘前大学大連事務所の設立を記念し、本学を代表して心よりお祝い申し上げます。国際交流協定の下で両大学は、学生交流において見事な成果を上げてきました。弘前大学大連事務所が中日の教育界の文化交流、ひいては産学連携の重要な拠点となり、大きく役立つよう衷心より期待しています。」と挨拶をいただきました。

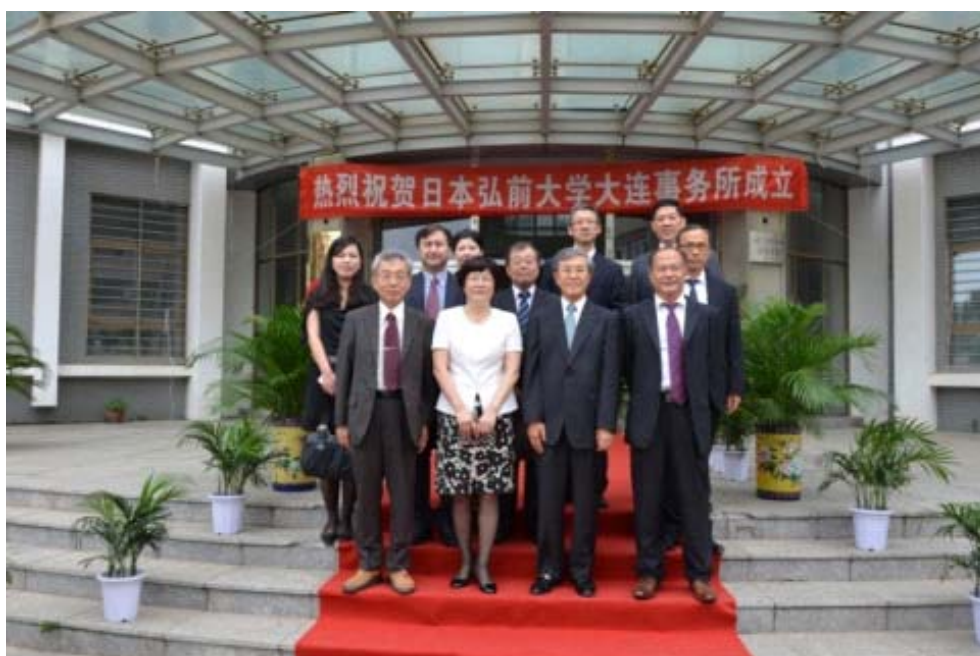
その後、記念品の交換を行い、最後は関係者による記念撮影が行われ、終始和やかな雰囲気の下、開所式は終了しました。



覚書締結調印する張校務委員会主任（右）と佐藤学長（左）



覚書締結調印後に握手する張校務委员会主任（右）と佐藤学長（左）



開所式列席者による記念撮影

## 第1回海洋エネルギー国際シンポジウムを開催

本学北日本新エネルギー研究所は、7月17日（火）、青森市内のホテルにて、第1回海洋エネルギー国際シンポジウム「海洋再生可能エネルギー開発へのアプローチ」を開催しました。

本シンポジウムは、本格的な海洋エネルギー利用実現に向けて、技術的課題のみならず、環境そして社会との調和をどう図っていくかなどの具体的な課題を産学官の各方面から提起し、それをどのように克服していくかについて、議論することを目的に開催したもので、行政関係者や研究者ら約120名が参加しました。

本シンポジウムでは、佐藤学長の主催者挨拶と三村青森県知事から来賓挨拶があり、続いて、内閣官房総合海洋政策本部参与で本学名誉博士の湯原哲夫氏から「日本における海洋開発の現状と課題」と題した基調講演が行われました。また、米国メイン州立大学潮力発電イニシアティブの研究者3名からメイン州ファンディー湾での潮流発電研究の取り組みについて講演があったほか、(独)水産総合研究センター理事長の松里壽彦氏ら7名の国内研究者等の講演が行われました。

ラップアップセッションでは、参加者と活発な意見交換が交わされ、三方を海に囲まれ、高い海洋エネルギーのポテンシャルを有する青森県において、海洋エネルギーの開発は、今後の地域再生の大きな切り札となり得ることが確認されました。

本学とメイン州立大学は、平成9年6月に国際交流協定を結んでおり、また、本年3月には北日本新エネルギー研究所とメイン州立大学潮力発電イニシアティブとの間で海流発電に関する国際協力連携協定を締結しています。本学は津軽海峡における海流発電についての研究の実績を有しており、メイン州立大学での世界最大の潮位差を誇るファンディー湾での潮流発電の実証研究実績を共有しています。また、メイン州立大学で進められている漁業調整等の海洋開発における社会的側面からの研究面においても協力して共同研究を進めていくことは、両大学の研究交流の促進に貢献すると共に、青森県における海洋エネルギーの利用実現に向けて、極めて有効な役割を果たすことが期待されます。



挨拶する佐藤学長



活発な意見交換が行われたラップアップセッション



## 日本学術振興会による科研費及び 特別研究員制度に関する説明会を開催

科研費制度及び特別研究員制度の理解を深め、研究活動のより一層の推進・充実及び採択率アップを目的とした、科研費等説明会が7月23日(月) 本学創立50周年記念会館みちのくホールで行われました。

はじめに加藤理事から、挨拶と本学における科研費の現状について説明があり、日本学術振興会総務部研究者養成課長大城 功氏、日本学術振興会研究事業部研究助成第二課長西山 和彦 氏、日本学術振興会学術システム研究センター専門研究員西沢 義子氏（弘前大学保健学研究科教授）から特別研究員制度及び科研費制度の動向や審査制度について、詳しい事例を交えながら講演が行われました。

また、昨年度に引き続き、「学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム」を構成する大学（東北女子大学、弘前学院大学、東北女子短期大学、弘前医療福祉大学）の教員、（地独）青森県産業技術センター弘前地域研究所の研究員にも参加を呼びかけ、本学教職員と合わせて103名の参加がありました。今回の説明会では本学で初めて特別研究員制度についての説明を行ったこともあり、講演後の質疑応答では、参加者から特別研究員制度についての質疑が出るなど活発なやりとりが行われ、特別研究員制度及び科研費制度の理解を深める上で、大変有意義な説明会となりました。



挨拶をする加藤理事



講演する日本学術振興会総務部研究者養成大城課長



講演する日本学術振興会  
研究事業部研究助成第二西山課長



講演する西沢教授

---

## 特別研究助成制度認定状交付式を挙

本学では、平成21年度より博士後期課程に入学した学生のうち、先端的な研究やユニークな研究を行う者に対して研究助成金として一人50万円を支給し、その研究を支援しています。

今年度は大学院医学研究科、保健学研究科、理工学研究科、地域社会研究科及び岩手大学大学院連合農学研究科（弘前大学配属）の大学院学生14名の研究を助成の対象として認定し、7月24日（火）に認定状交付式を本学事務局3階大会議室で行いました。

交付式では出席者への認定状交付の後、佐藤学長から学生に対して研究活動に対する激励の言葉がありました。



学生を激励する佐藤学長

---

## ■ 諸 会 議

### ▼役員会

7月 2日（月）

#### 審議事項

- 1 学内諸規則等の一部改正について  
(1) 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正について  
(2) 国立大学法人弘前大学公印規程の一部改正について
- 2 弘前大学教育推進機構規程の制定について
- 3 弘前大学表彰について
- 4 弘前大学外国人留学生住宅機関保証制度実施要項の制定について
- 5 平成24年度研究支援員制度について

#### 報告事項

- 1 国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について
- 2 平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
- 3 延辺大学訪問について
- 4 平成24年度大学の世界展開力強化事業への応募について
- 5 平成24年度グローバル人材育成推進事業への応募について
- 6 平成24年度科研費獲得支援事業の決定について
- 7 平成24年度弘前大学科研費等説明会の開催について
- 8 平成24年度「科学者発見プロジェクト」テーマ賞及び表彰式等について
- 9 ねぶたまつりへの参加について

### ▼教育委員会

7月25日（水）

#### 審議事項

- 1 弘前大学学位規則の一部改正について

#### 報告事項

- 1 東日本大震災による被災学生へのアンケートについて
- 2 弘前大学大学院振興基金の選考結果について
- 3 特別研究助成制度の認定について
- 4 学生相談を考える会について
- 5 平成24年度東北地区大学体育大会の結果について

### ▼研究委員会

7月24日（火）

#### 審議事項

- 1 平成24年度弘前大学学術特別賞について
- 2 平成25年度弘前大学国際シンポジウム助成事業の審査について

#### 報告事項

- 1 平成24年度科研費獲得向上対策費の配分基準について
- 2 平成24年度「科学者発見プロジェクト」テーマ賞及び表彰式等について
- 3 平成24年度弘前大学科研費等説明会について
- 4 地域共同研究センター運営委員会の報告について

## 新任教授紹介

【平成24年7月16日発令】



医学研究科  
サトウ アツシ  
佐藤 温  
採用  
前職: 昭和大学病院腫瘍内科  
准教授

## 人事異動

【採用】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年7月1日		佐藤 江里	助教(医) [29.06.30まで]
平成24年7月1日		菊池 潤	助手(病院) [29.06.30まで]
平成24年7月16日		佐藤 温	教授(医) [34.07.15まで]

【任用更新】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年7月27日		尾張 至伸	教諭(附特) [H24.09.20まで]

【命】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年7月1日	教授(医)	藏田 潔	附属図書館医学部分館長 [26.06.30まで]
平成24年7月16日	教授(医)	佐藤 温	医学部附属病院腫瘍内科長

【休職】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年7月4日	一般職員(病院・医事)	斎藤 めぐみ	休職更新 [25.01.03まで]
平成24年7月23日	教諭(附特)	宮本 美穂	休職開始 [24.10.01まで]

【育児休業】

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年7月1日	一般職員(病院・経調)	成田 裕美	職務復帰
平成24年7月2日	看護師(病院・看護)	對馬 知美	育児休業開始 [25.03.31まで]
平成24年7月4日	一般職員(学務・就職)	小枝 明香	育児休業開始 [25.03.31まで]
平成24年7月6日	教諭(特附)	坂本 裕子	職務復帰
平成24年7月13日	一般職員(医)	小豆畑 早苗	職務復帰

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年7月23日	一般職員(病院・総務)	小林 陽子	職務復帰
平成24年7月31日	看護師(病院・看護)	今 美 香	育児休業開始 [26.03.31まで]

[離職]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成24年7月12日	一般職員(医)	三 橋 真 紀	任期満了退職
平成24年7月31日	准教授(医)	神 村 典 孝	退職
平成24年7月31日	助教(医)	矢 嶋 信 久	退職
平成24年7月31日	助教(病院)	石 村 大 史	退職
平成24年7月31日	助教(病院)	山 本 勇 人	退職

---

## ■ 主要日誌

- 7月2日 役員会
- 5日 プロテオグリカンフォーラム夏2012
- 9日 第3回弘前大学出版会賞表彰式
- 10日 教育研究評議会
- 13日 弘前大学大連事務所開所式
- 17日 第1回海洋エネルギー国際シンポジウム
- 23日 役員会  
日本学術振興会による科研費及び特別研究員制度に関する説明会
- 24日 特別研究助成制度認定状交付式  
研究委員会
- 25日 教育委員会

---

## ■ 学内規則等の制定等

(平成24年7月25日改正)

### ○国立大学法人弘前大学管理運営規則

本学の教育理念と目標に沿い、学士課程及び大学院課程教育の充実を図ることを目的として教育推進機構を設置するため、上記の規則の一部を改正した。

(平成24年7月25日制定)

### ○弘前大学教育推進機構規程

教育推進機構に関し必要な事項を定めるため、上記の規程を制定した。

(平成24年7月25日改正)

### ○国立大学法人弘前大学公印規程

以下の理由により、上記の規程の一部を改正した。

- ①国立大学法人弘前大学文書決裁規程において規定される理事を名義者とする文書に対応するため、理事の公印について定める。
- ②適切な事務の効率化を図るため、公印の押印省略について定める。
- ③その他字句の修正等所要の改正を行う。

---

## 訃報

本学名誉教授 松井 哲郎 氏には、7月8日（日）御逝去されました。  
享年 87歳  
ここに、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。



弘前大学学報第100号

弘前大学総務部広報・国際課  
036-8560 弘前市文京町1  
電話 (0172)36-2111